

第1回評価委員会終了後の御意見・御質問等について

資料2-1

1. 事務局の参考コメントに対する修正・削除等

計画番号と評価事項 (計50項目 番号は中期計画及び年度計画の番号)		大学 自己 評価	事務局 評価	御意見	事務局回答(案)
3	大学院の入学者確保に向けた取組の推進	A	3	【池上委員】 追加意見 大学自己評価は「A」であるが、「3」が適当。理由は、アドミニストレーション研究科の収容定員変更は決定したが、令和5年度からの実施であり、定員充足には至っていないため。 【園田委員】 第1回委員会意見 指標を達成していないものの、様々な努力や定員見直しをされており、必ずしも「3」でなくてもよいのでは。	毎年度、「課題」として評価されてきており、事務局案では、「3」として評価しているが、定員見直しや様々な努力していることから、「2」でもよいのではと意見が出ているので、委員会で審議いただきたい。
6	英語を含む外国語教育の改善	B	3	【池上委員】 追加意見 「3」が適当と考えられるが、検討の余地あり。「検証指標 - は、R2、R3はコロナの影響のため大きく減少したと考えられる。 - 、 - は目標を大きく上回っている。 - は目標の設定に検討が必要。	検証指標を達成していないため、事務局案では「3」が妥当と評価している。委員の御意見を踏まえて、委員会で審議いただきたい。なお、委員から御指摘があったように、指標の設定については、熊本県立大学で設定されたものであり、検討が必要であるとの御意見をいただいた旨を伝達する。
26	他大学・研究機関と連携した共同研究・受託研究の継続的な実施	S	2	【池上委員】 追加意見 「2」の評価を「1」にあげることが適当。理由は、JSTの共創の場形成支援プログラム【地域共創分野(本格型)】による「流域治水を核とした復興を起点とする持続社会」地域共創拠点の採択は、大規模、長期間、広範囲にわたるプロジェクトであるため。	令和3年度までの平均件数は指標を下回っているが、地域共創拠点事業の今後の取組に期待して、「2」の評価としたものである。事業の展開次第では、R4、R5の見込みを大きく超えるような実績を上げることも期待できるが、事務局の中間評価案としては「2」とし、委員の御意見を踏まえて、委員会で審議いただきたい。
24	県や市町村、企業その他の団体の様々な課題の解決支援(地域貢献推進)	A	2	大学事務局からの指摘による修正	令和3年度新たに水上村や上天草市、多良木町と包括協定を締結するなど、地域が抱える課題解決に向けて、中期計画が着実に実施されており、中期目標・中期計画の達成が見込まれるものと評価できる。